

令和8年度

全国学力・学習状況調査 結果概要報告

交野市教育委員会
学校教育課

1

調査概要

2

昨年度の結果について

3

今年度の結果について

4

今後の取組みについて

目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

対象

小学6年生・中学3年生

内容

小学校：国語、算数、質問調査

中学校：国語、数学、英語、質問調査 ※英語はCBTによる実施

実施日

国語、算数・数学：令和8年4月23日

英語：文部科学省が指定する日



意図的・継続的な学習活動を展開し、児童生徒が“学び”を実感できる授業づくり



国語



【成果✓】

- ・漢字の正しい使用と内容の大体把握
- ・話の構成の工夫や、表現効果の思考



【指導例💡】

他者との比較と根拠の明確化

- ・自分と他者の意見を比較し、考えをまとめる学習
- ・相手に分かりやすく伝わるよう、根拠を明確にした文章構成を工夫する



算数・数学



【成果✓】

- ・分数の計算や立式、角の大きさの比較
- ・じゃんけんの確率など、条件に基づく予想



【指導例💡】

データの目的意識と整理・分析

- ・目的をもってデータを集め、表やグラフに整理する学習
- ・集めたデータを比較・分析し、自分の考えを論理的にまとめる



理科



【成果✓】

- ・実験結果の予想と表現
- ・抵抗に関する理解や、実験器具の確実な操作



【指導例💡】

予想と結果の比較、日常への関連付け

- ・結果を予想しながら実験・観察を行い、結果と比較・考察する学習
- ・結果を図や表に整理し、日常生活の事象と関連させて新たな課題を見出す

【共通の課題🚩】

- ・言葉を正しく使用して文章を作成すること
- ・学んだことを生かし、自らの学び方を考えること
- ・データや実験結果を根拠に、新たな課題を見出すこと
- ・資料や文章、話の組み立てを工夫し、伝わるようにすること



【全教科共通の指導アプローチ🇯🇵】

「理由や根拠の明確化」を徹底する学習

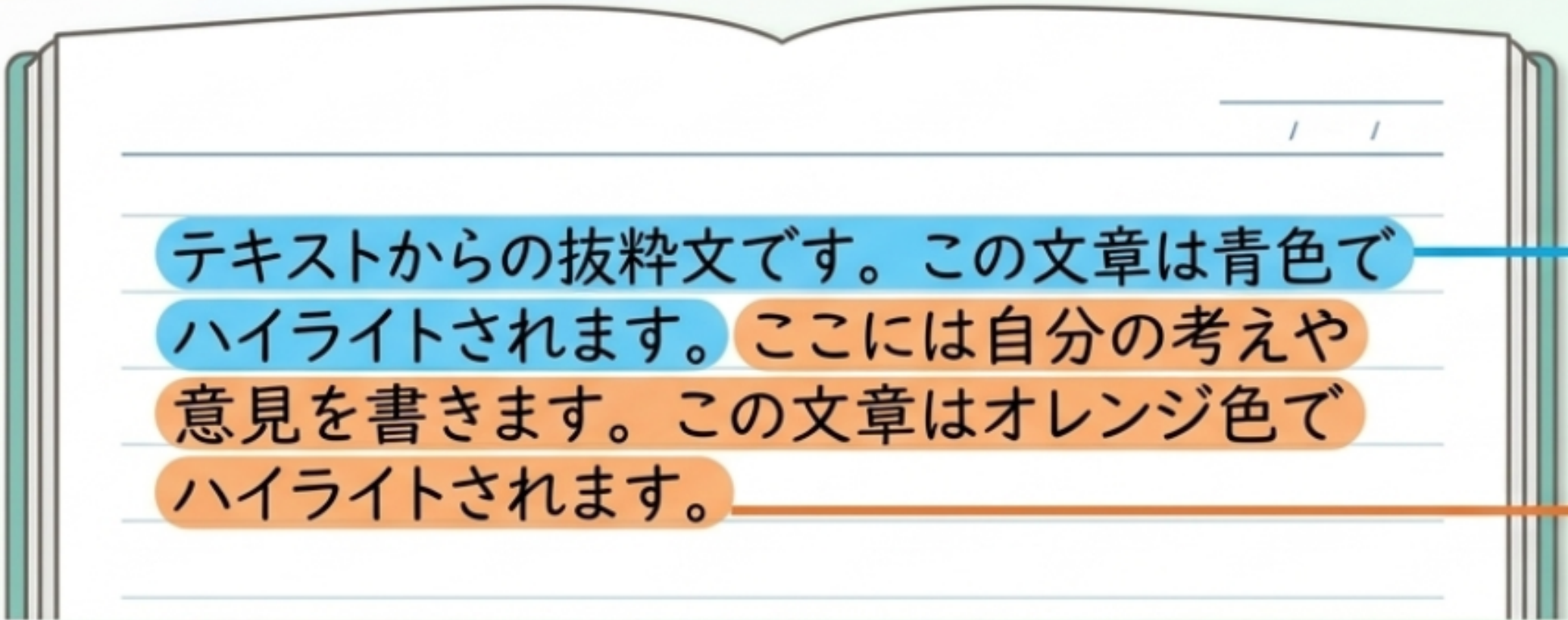
「○○になるのは、△△だから」のように、常に理由や根拠をセットにして説明する習慣を全教科で定着させる。

「思考力・判断力・表現力」の育成へ



「どう書くか」に重点を置いた指導へ

強み	課題
言葉の特徴や使い方などの「知識・技能」は良好	自分の考えは書けるが「引用」がない (問2四：割合33.2% 全国29.2%) 長文記述への心理的ハードル (問3三(2)無解答率：18.8% 全国15.6%)

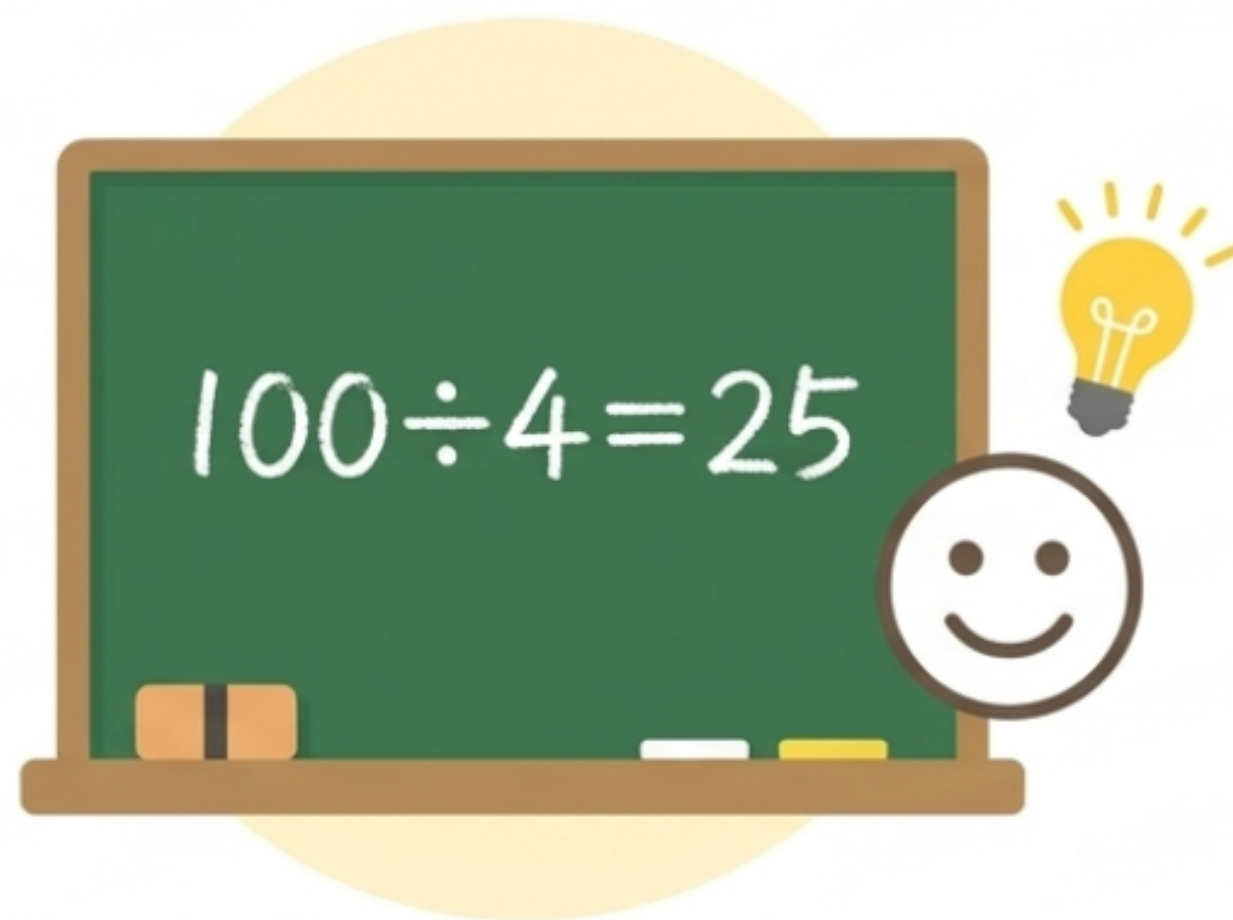


青色＝情報からの抜き出し
(根拠・引用)

オレンジ色＝自分の意見

記述作法の視覚化により、心理的ハードルを下げ「どう書くか」を指導する

「答え」だけでなく「理由」を語る指導へ



概数（市69.3% 国66.5%）や
数の構成（市95.4% 国94.5%）など、
基礎的な処理能力は非常に良好



課題

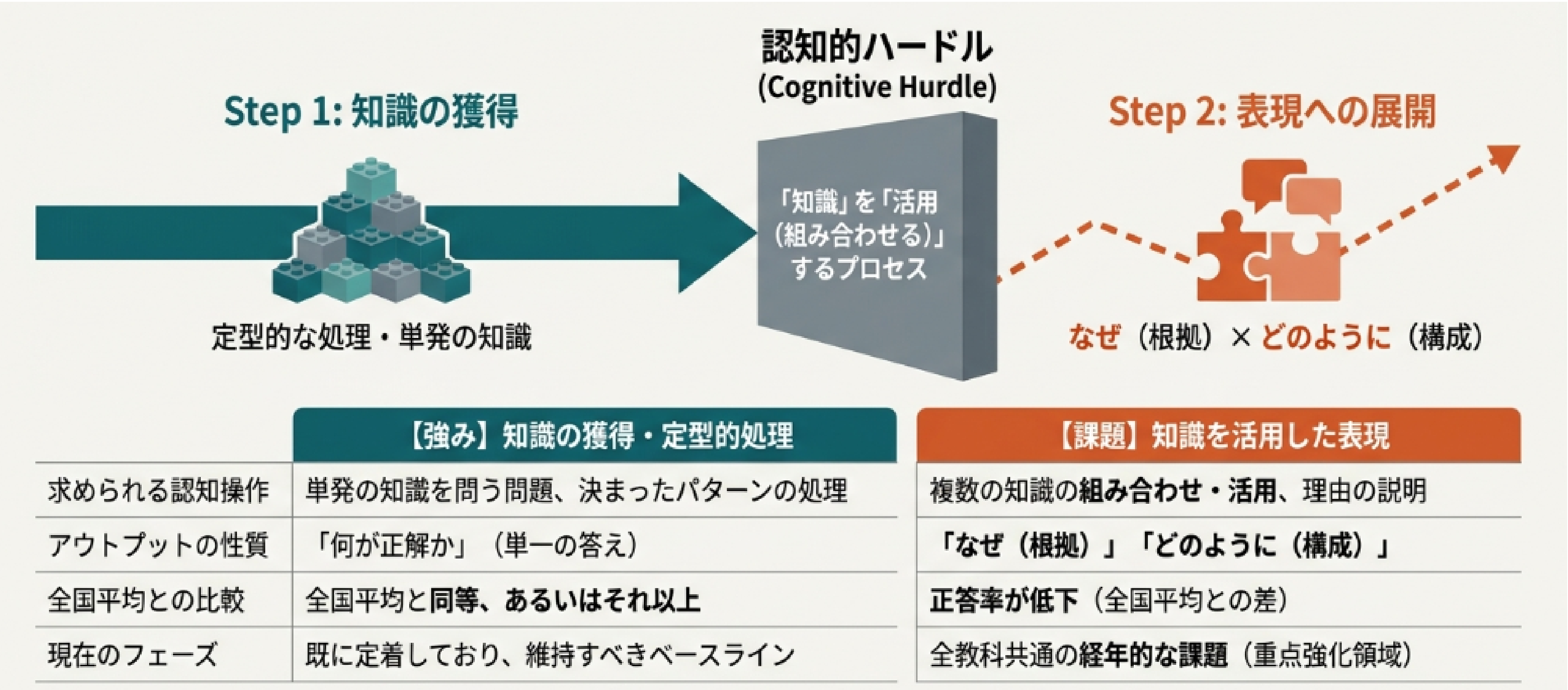
数学的な根拠・数值的根拠を用いた言語化

手立て💡

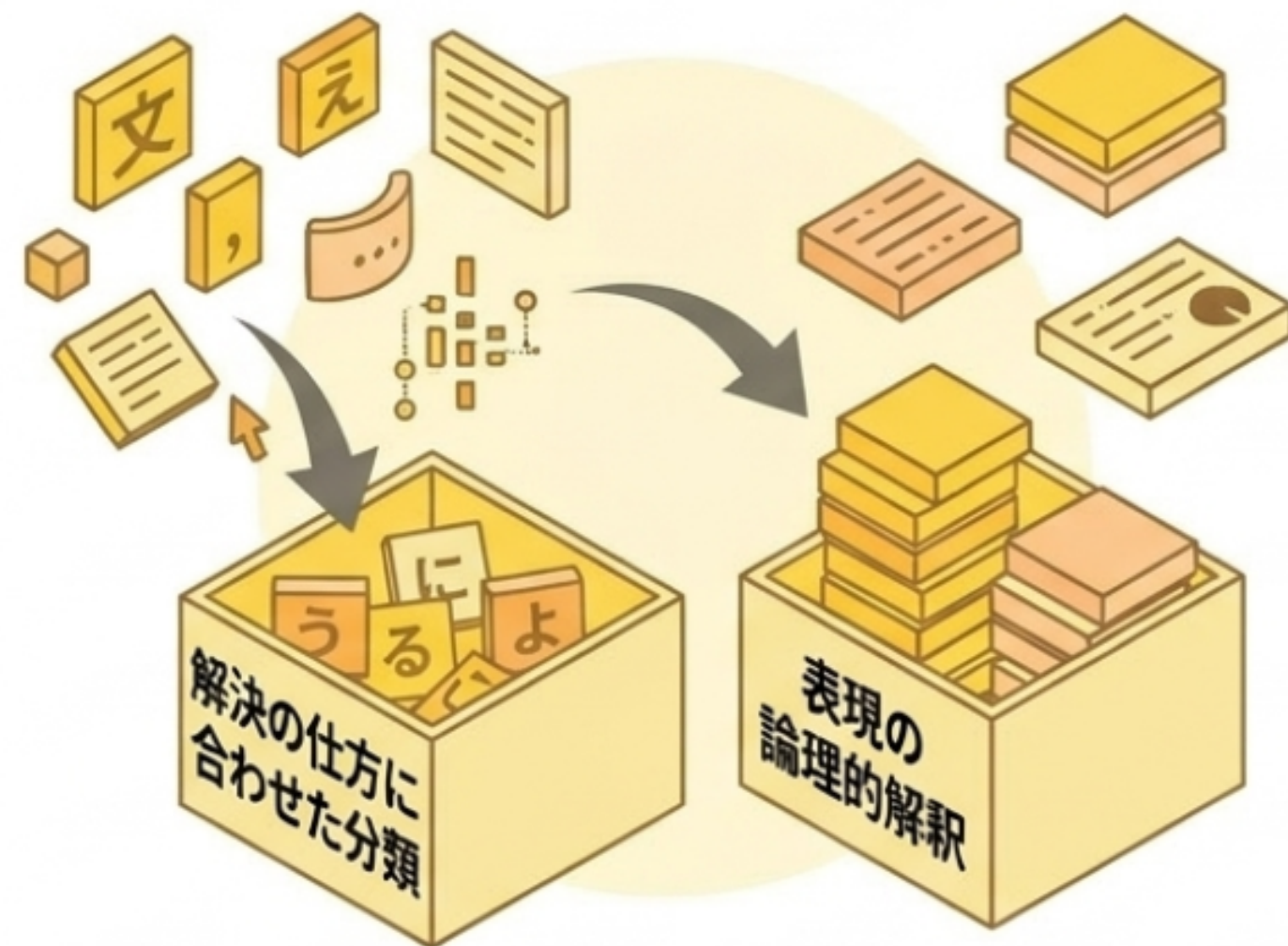
算数用語を用いた説明場面の必須化。
言語化による意味理解の促進

知識を表現する際の認知的ハードルの改善へ

NotebookLMにより生成



「文章構成を意識した記述」をめざした指導へ



情報の構造化（解決の仕方に合わせた分類：正答率73.8%、+3.4pt）や、表現の論理的解釈（助動詞『られる』の識別：正答率86.1%、+1.8pt）は良好

2 四



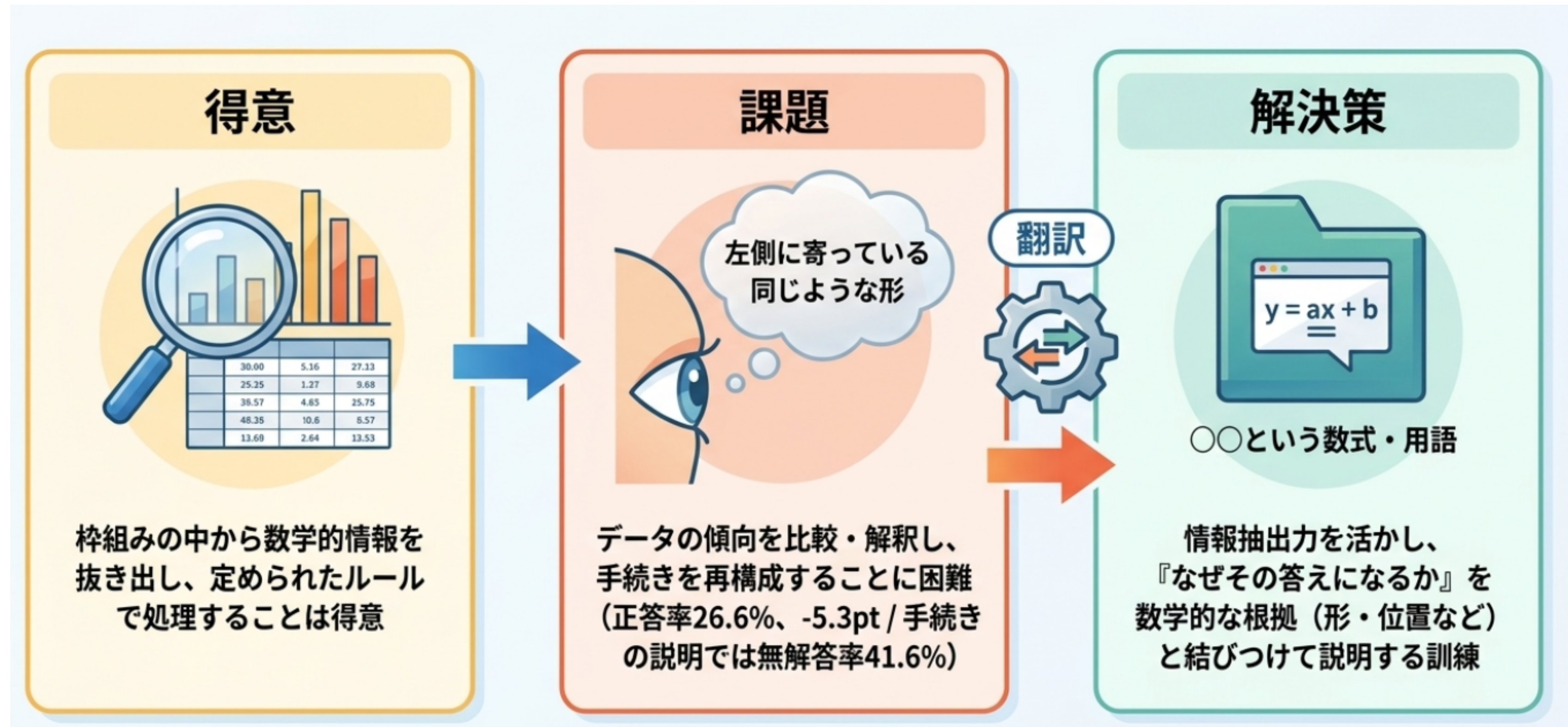
課題

他者の視点を取り入れつつ、自分の主張を一から論理的に再構築して書くこと（正答率48.1%、-4.6pt）

手立て💡

『整理・解釈する力』を、記述問題における『構成力』へと変換する授業づくり

数学的な言葉で論理的に説明する技能向上に向けた指導へ



まとめりのあるアウトプットをめざした指導へ

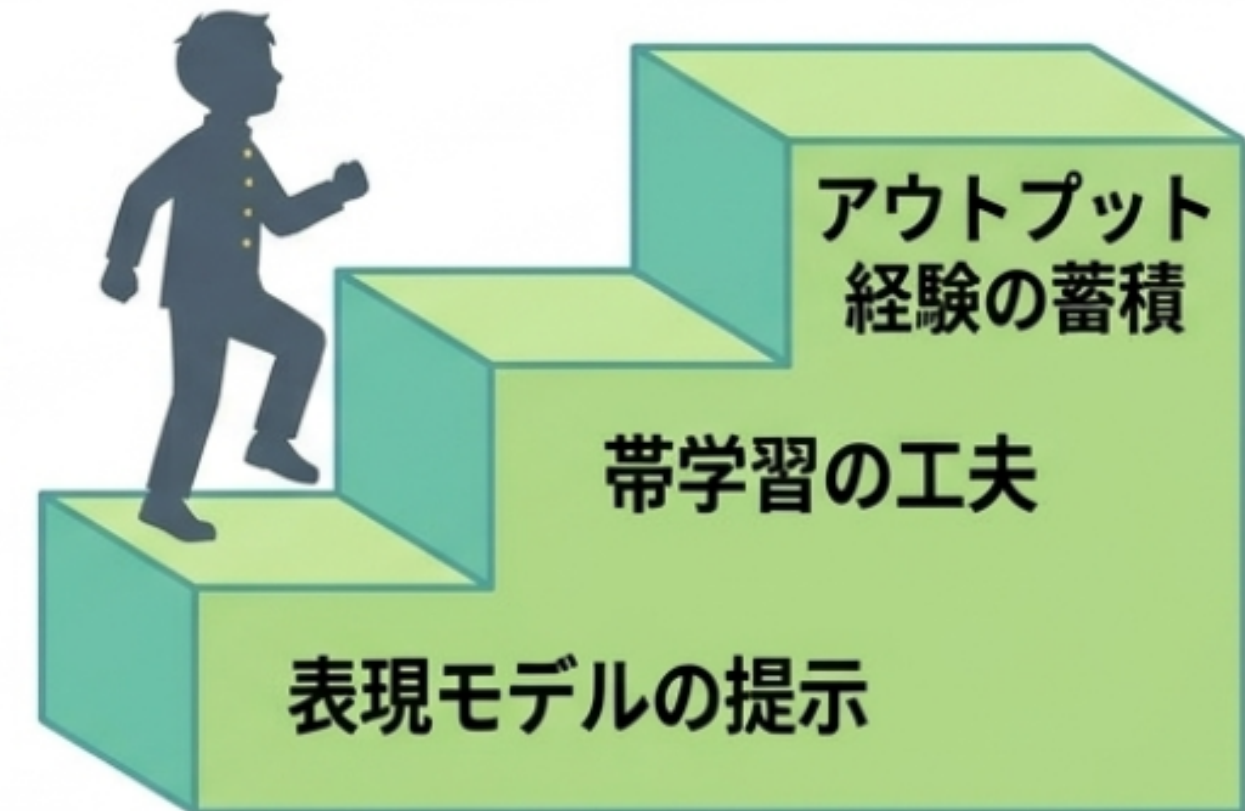
スモールステップ化で抵抗感を減らし、表現の楽しさを実感させる

現状（課題）



事実や短い文での表現は良好。しかし、まとめりのある文章構成に課題(正答率41.6%、-5.9pt)。
自由記述への高い無解答率＝心理的抵抗感

解決策（成果）



段階的な支援により、抵抗感を減らし、表現の楽しさを実感させる。アウトプット力の向上と無解答率の改善をめざす。

今年度の結果について（質問調査）

令和8年度 全国学力・学習状況調査 結果概要報告

#011

学びに向かう力、人間性等に係る項目

【分らないことや詳しく知りたいことについて、自分で学び方を考え、工夫している】

小学校 R8:81.6%（R7:76.7%、R6:75.7%） ※R8全国:79.4%
中学校 R8:80.5%（R7:76.0%、R6:84.0%） ※R8全国:78.2%

平均正答率

60.2%

※否定：51.0%

【授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫している】

小学校 R8:72.9%（R7:66.7%、R6:62.8%） ※R8全国:66.4%
中学校 R8:72.9%（R7:67.0%、R6:78.2%） ※R8全国:65.5%

平均正答率

62.0%

※否定：49.4%

【授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる】

小学校 R8:77.5%（R7:80.1%、R6:77.4%） ※R8全国:77.6%
中学校 R8:78.7%（R7:79.2%、R6:84.5%） ※R8全国:78.8%

平均正答率

62.1%

※否定：47.7%

今年度の結果について（質問調査）

令和8年度 全国学力・学習状況調査 結果概要報告

#012

学びに向かう力、人間性等に係る項目

【話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする】

小学校 R8:85.3%（R7:83.7%、R6:82.5%） ※R8全国:85.7%

中学校 R8:85.4%（R7:87.7%、R6:88.9%） ※R8全国:87.0%

平均正答率

59.3%

※否定：51.3%

【学習した内容について見直し、次の学習につなげている】

小学校 R8:80.0%（R7:81.5%、R6:77.6%） ※R8全国:78.4%

中学校 R8:80.9%（R7:73.9%、R6:81.1%） ※R8全国:79.0%

平均正答率

60.5%

※否定：52.0%

【授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりしている】

小学校 R8:79.8%（R7:79.8%、R6:77.6%） ※R8全国:80.8%

中学校 R8:79.6%（R7:73.8%、R6:84.3%） ※R8全国:78.0%

平均正答率

59.7%

※否定：52.4%

今年度の結果について（質問調査）

令和8年度 全国学力・学習状況調査 結果概要報告

#013

授業改善に関する項目

【授業では、学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行っていた】

小学校 R8:73.4%（R7:75.0%、R6:76.0%） ※R8全国:73.4%

中学校 R8:75.8%（R7:71.8%、R6:84.0%） ※R8全国:70.8%

平均正答率

60.5%

※否定：51.1%

【授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていた】

小学校 R8:81.6%（R7:82.5%、R6:83.0%） ※R8全国:80.8%

中学校 R8:74.4%（R7:78.2%、R6:84.5%） ※R8全国:78.9%

平均正答率

59.3%

※否定：54.9%

【先生は間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれている】

小学校 R8:86.3%（R7:87.1%、R6:85.2%） ※R8全国:87.3%

中学校 R8:79.1%（R7:79.5%、R6:83.0%） ※R8全国:85.2%

平均正答率

59.0%

※否定：56.5%

今年度の結果について（質問調査）

令和8年度 全国学力・学習状況調査 結果概要報告

#014

児童生徒同士の関わりに関する項目

【自分と違う意見について考えるのは楽しい】

小学校 R8:74.4%（R7:78.1%、R6:72.4%） ※R8全国:77.9%
中学校 R8:78.5%（R7:80.8%、R6:78.5%） ※R8全国:78.6%

平均正答率

59.5%

※否定：53.6%

【授業や学校生活では、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる】

小学校 R8:90.1%（R7:90.7%、R6:89.3%） ※R8全国:91.4%
中学校 R8:91.1%（R7:91.4%、R6:91.5%） ※R8全国:92.4%

平均正答率

59.1%

※否定：49.4%

【あなたの学級では、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている】

小学校 R8:80.1%（R7:80.3%、R6:74.0%） ※R8全国:81.5%
中学校 R8:86.1%（R7:83.0%、R6:90.4%） ※R8全国:84.5%

平均正答率

59.0%

※否定：56.9%

今年度の結果について（質問調査）

令和8年度 全国学力・学習状況調査 結果概要報告

#015

情報活用能力に関する項目

【インターネットを使って情報を収集（検索する、調べる）ことができる】

小学校 R8:79.7%（R7:89.0%） ※R8全国:84.9%
中学校 R8:90.4%（R7:90.0%） ※R8全国:90.9%

平均正答率

58.1%

※否定：42.4%

【ICT機器を使って情報を整理（図や表、思考ツールを使ってまとめる）ことができる】

小学校 R8:64.9%（R7:66.7%） ※R8全国:69.5%
中学校 R8:75.2%（R7:67.1%） ※R8全国:69.4%

平均正答率

61.2%

※否定：48.6%

【ICT機器を使ってプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる】

小学校 R8:72.0%（R7:73.0%） ※R8全国:74.6%
中学校 R8:78.5%（R7:70.7%） ※R8全国:80.0%

平均正答率

60.6%

※否定：48.5%

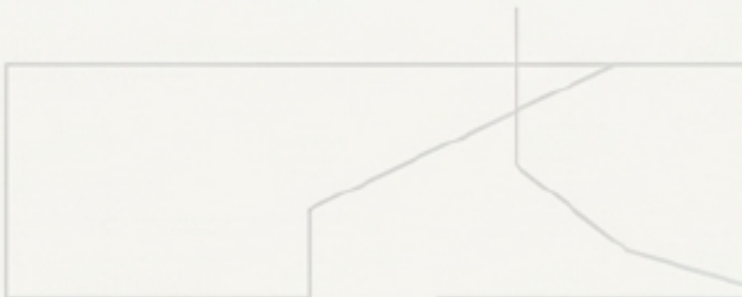
授業改善の4つのポイント

【論理記述】



基礎活用・理由付記・習慣化

【思考共有】



端末活用・視覚比較・他者検討

【抵抗解消】



短文反復・白紙減少・心理緩和

【自信醸成】



表現歓喜・効力向上・自己確立

「伝える喜び」の実感を、学びの原動力へ



確かな学力を生きる力に



令和8年度 全国学力・学習状況調査結果概要報告

交野市教育委員会
学校教育課